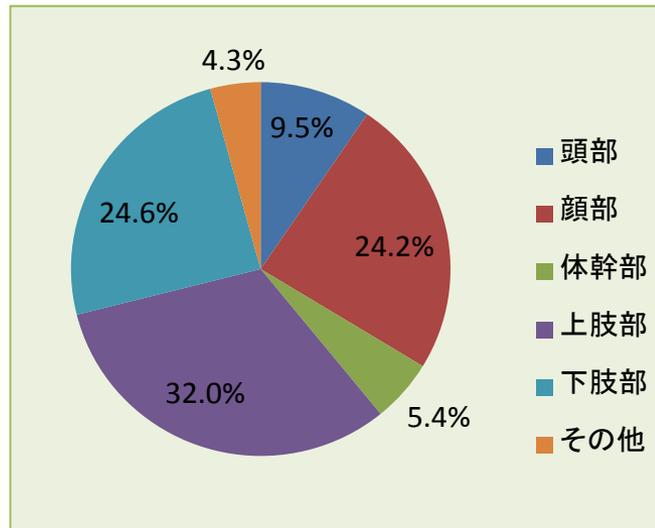


こんなけがが多いよ！（小学生編）

★頭部・顔部のけがが多い！

小学生の場合、身体の部位別にけがの割合をみると、上肢部が32%と一番多く、下肢部が25%、顔部が24%と続きます。

しかし、頭部と顔部を合わせると全体の34%となり、これは、毎年同じ傾向になっています。中学生(17.7%)や高校生(15.4%)に比べ、多くの割合を占めているのが特徴です。



平成22年度災害共済給付データより

★頭のほか、眼や歯のけがにも注意！

頭部・顔部では、頭部・眼部・歯部・前額部の割合が多くなっています。

けがが多いのは、危険を予測したり判断する能力が未熟なことや、転んだ時に手が付けられないなど身のこなしが上手く出来ないことなどが原因と考えられます。

ちゅうい ここに注意しよう！



段差や滑りやすいところに気をつけよう！

【事例】 通学^{じれい}中に、道路^{つうがくちゆう}の縁石^{どうろ}の上^{えんせき}を歩^{うえ}いていた。足^{あし}を踏^ふみ外^{はず}して転倒^{てんとう}した際^{さい}、鼻^{はな}を地面^{じめん}に打^うった。



むやみに物を投げない、振り回さない！

【事例】 休憩時間^{きゆうけいじかんちゆう}中^{きょうしつ}、教室^{じょうぎ}で定規^{あそ}をはじいて遊^{あそ}んでいた。その定規^{じょうぎ}が飛^とんで、左目^{ひだりめ}にあたり、けがをした。



出入り口や廊下の曲がり角に気をつけよう！

【事例】 体育^{たいいく}のため昇降口^{しょうこうぐち}から外^{そと}に出ようとしたところ、教室^{きょうしつ}へ帰ろうと入^{かえ}ってきた他の児童^{はい}とぶつ^{ほか}かった。

